

生活

Q

2カ月以上、咳と痰が続く

二カ月以上、咳と痰が続いています。熱はないです。熱はない

く、治療しても治らず、心配です。痰の検査を受けるべきですか？(男性・76歳)

A

咳は症状が長引きやすいのが普通です。短期間で治まることもあります。月単位で長引く場合も少なくありません。二カ月くらい続くこともあり、必要以上の心配をしないことです。

一度は呼吸器の専門医を受診し、原因を診断しても

紙上診察室

久田 哲哉氏



らうことをお勧めします。そのために必要な検査がいくつかあります。まずはエックス線です。長引く咳の原因で重大な病気には、肺がんや結核などがありますが、その場合には通常、エックス線写真に異常な影

が写るはずですが、

影が認められない場合には、感染後咳嗽(感染のなごり)、アレルギー性咳嗽、逆流性食道炎関連、慢性副鼻腔炎(蓄膿症)関連、一部の高血圧治療薬など咳の出やすい薬の服用、喫煙者では慢性閉塞性肺疾患(COPD)などが考えられます。

喀痰検査(痰を採取して顕微鏡などで調べる)は、肺がんや結核の診断のためにも重要ですが、痰の中のアレルギー関連細胞の存在の確認、COPDなどでは

痰の中に普段からいる細菌の確認など、さまざまな情報を得ることができ、非常に重要な検査です。さらに、エックス線検査で見えにくい場所の確認などのために、胸部コンピュータ断層撮影(CT)検査も重要です。胸部CT検査では、喫煙者の肺のダメージ具合の確認などもできることがあります。

治療は原因によって違います。専門医による正しい診断が大切です。(東京通信病院呼吸器内科部長)

エックス線などで原因特定を